



農業ジャーナリスト

青山 浩子

経済
観測

経営者として農業を営み、収益を着実にあげている農家は、例外なく数字に強い。計算が速く、コスト意識も強い。自分や周りでやるうとしてい

くが受験、約7割が合格した。農業者と関わりが深い税理士や会計士で構成す

る。2014年に行われた2回の試験では約1300人近い人が受験、約7割が合格した。農業者と関わりが深い税理士や会計士で構成す

数字に強い農家の育成を

2014.11.19

る全国農業経営コンサルタン
ト協会が監修している。事務
局によると「農家より、税理
士や会計士、銀行員が多く受
験したようだ」という。
実はこれまで農業の会計に
関する全国統一の基準がなか
った。たとえば、まだ木にな
っている未収穫の果物などを
どう棚卸し評価するのか、各
種補助金は損益計算書にどう
計上するのかなど、地域や税
理士によっても扱いがまちま
ちだった。そこで協会が「農
業の会計に関する指針」を14
年に制定し、農業簿記検定の
実施へとつながった。
感覚的にも理論的にも数字
に強い農家とは、農林水産省
が育成に力を入れている「効
率的で安定的な農業経営にな
っている経営体」とも重なる。
絶好のツールができあがった
ので活用していきたい。農業
簿記検定の合格者から経営指
導を受ける農家をいかに増や
すか、皮膚感覚で数字に強い
農家の中から合格者をどこま
で増やせるか。これが足腰の
強い農業につながるに違いな
い。